

The next frontier in mobility.



# 2020年3月期 決算説明会

2020年4月30日  
アイシン精機株式会社

<b>1. 決算のポイント</b>	<b>P2</b>
<b>2. 2020年3月期 実績</b>	<b>P3~8</b>
<b>3. 参考資料</b>	<b>P9~18</b>

# 1. 2020年3月期 決算のポイント

1. 売上は、中国市場を中心としたAT販売台数の減少に加え、新型コロナウイルスの影響を受け、前年度に比べ減収。
2. 営業利益は、構造改革が着実に進捗しているものの、対前年度では、売上の減少、先行投資にかかる償却費等の増加に加え、減損など事業処理費用の計上により減益。
3. 2021年3月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現段階で合理的な算出が困難であるため未定。

## 2. 2020年3月期 実績

---

# 2020年3月期 実績

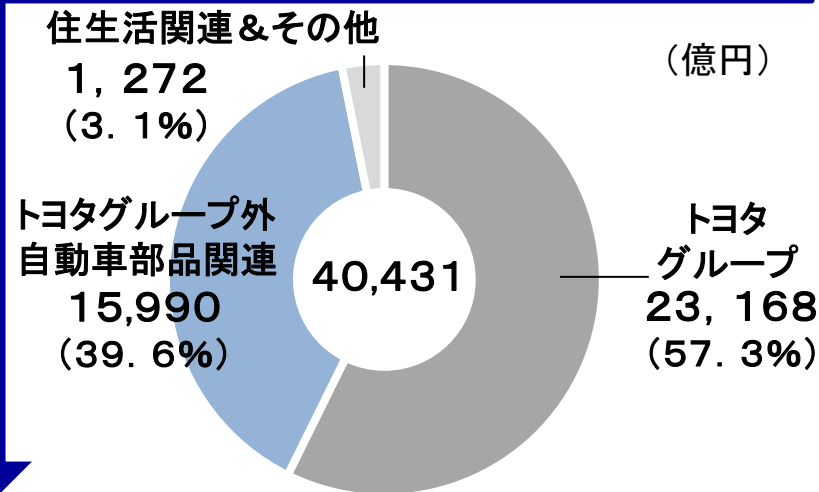
(億円)	2019年3月期		2020年3月期		増減		2020年3月期	
	実績	構成比 %	実績	構成比 %	増減額	増減率 %	1月31日公表値	構成比 %
売上収益	40,431	-	37,845	-	▲2,586	▲6.4	38,400	-
営業利益	2,055	5.1	561	1.5	▲1,494	▲72.7	750	2.0
税引前利益	2,174	5.4	533	1.4	▲1,641	▲75.4	780	2.0
当期利益(※)	1,101	2.7	240	0.6	▲861	▲78.2	400	1.0
一株当たり利益	408.64 円	-	89.28 円	-	▲319.36 円	▲78.2	148.42 円	-

前提条件	為替レート	米ドル111円	米ドル109円	▲2円	▲1.8	米ドル108円
		中国元16.5円	中国元15.6円	▲0.9円	▲5.5	中国元15.4円
	トヨタ生産台数	906万台	893万台	▲13万台	▲1.4	907万台
	AT販売台数	999万台	904万台	▲95万台	▲9.5	925万台

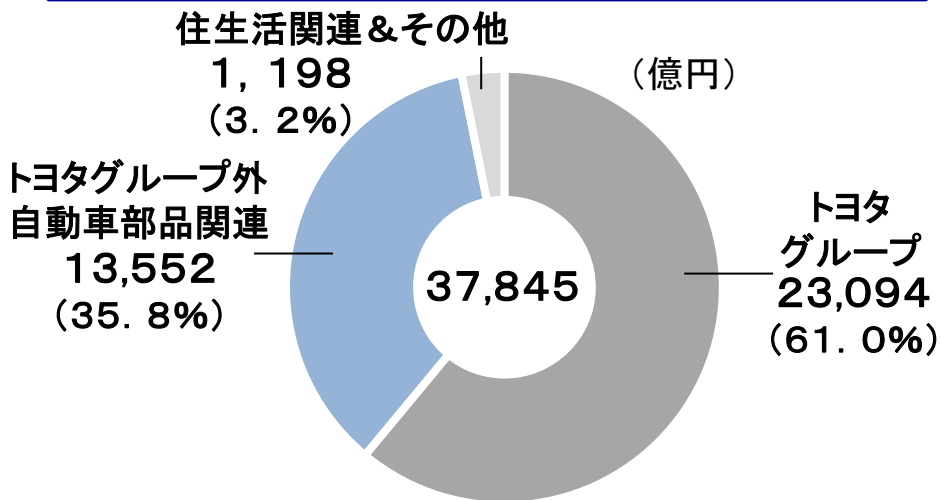
(※) 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2020年3月期 得意先別売上実績

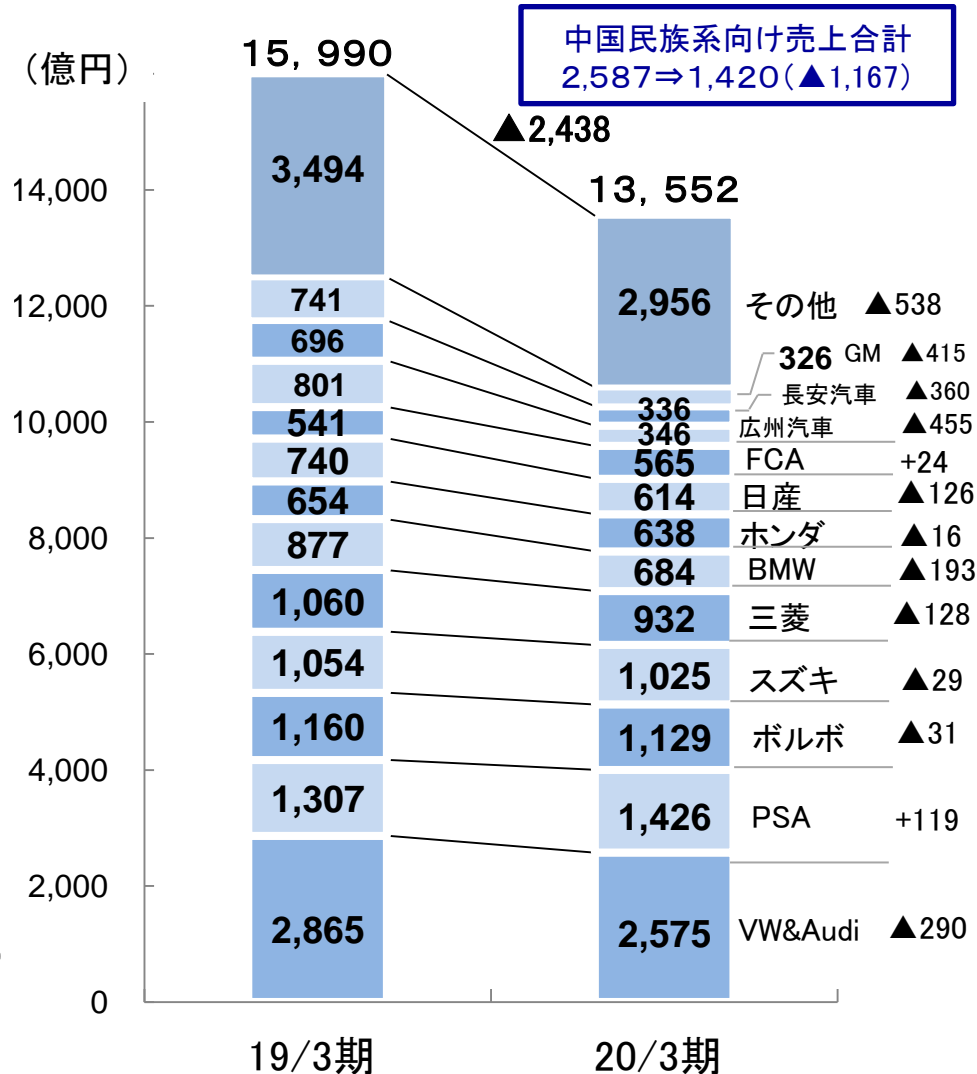
## 19年3月期 売上収益



## 20年3月期 売上収益(前年比▲2,586)

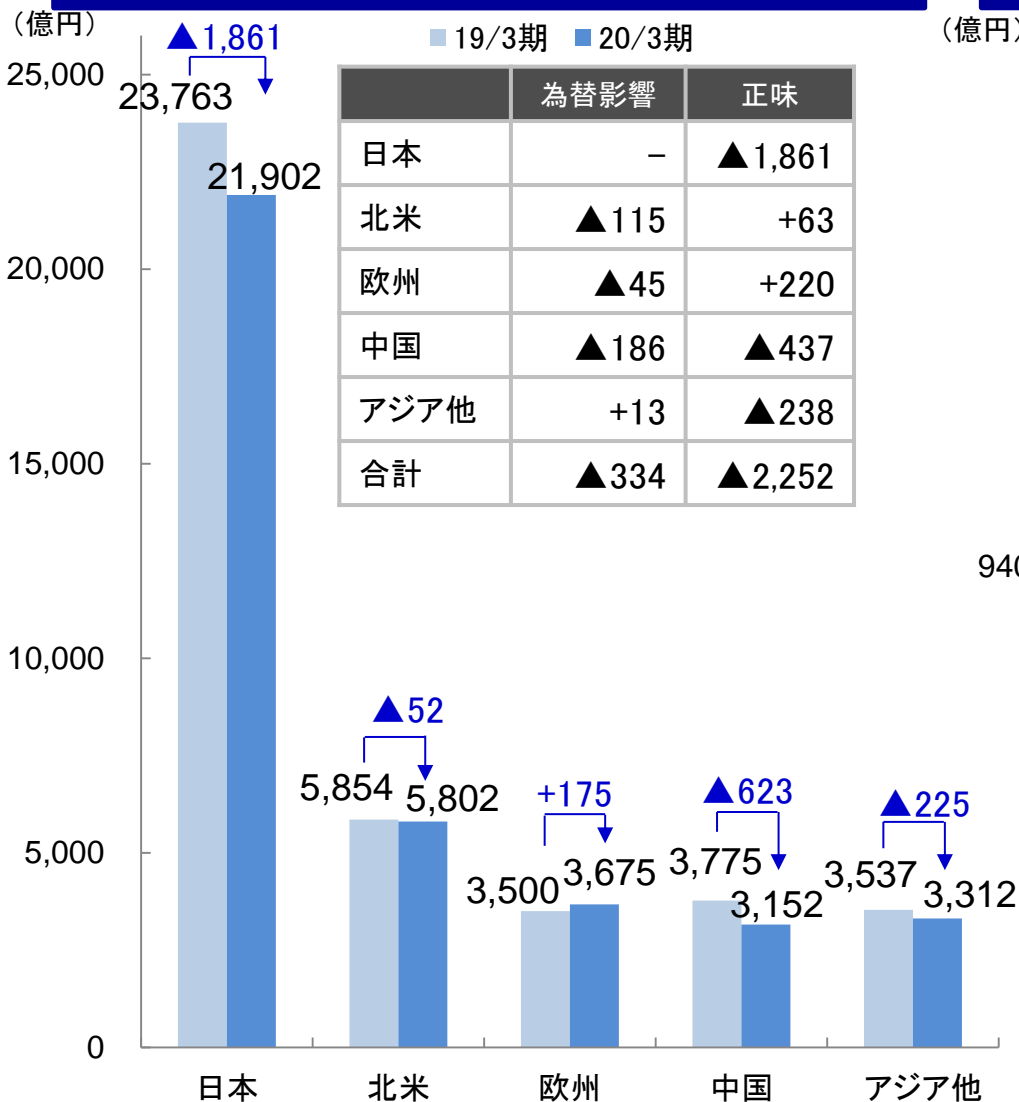


## トヨタグループ外 自動車部品関連内訳

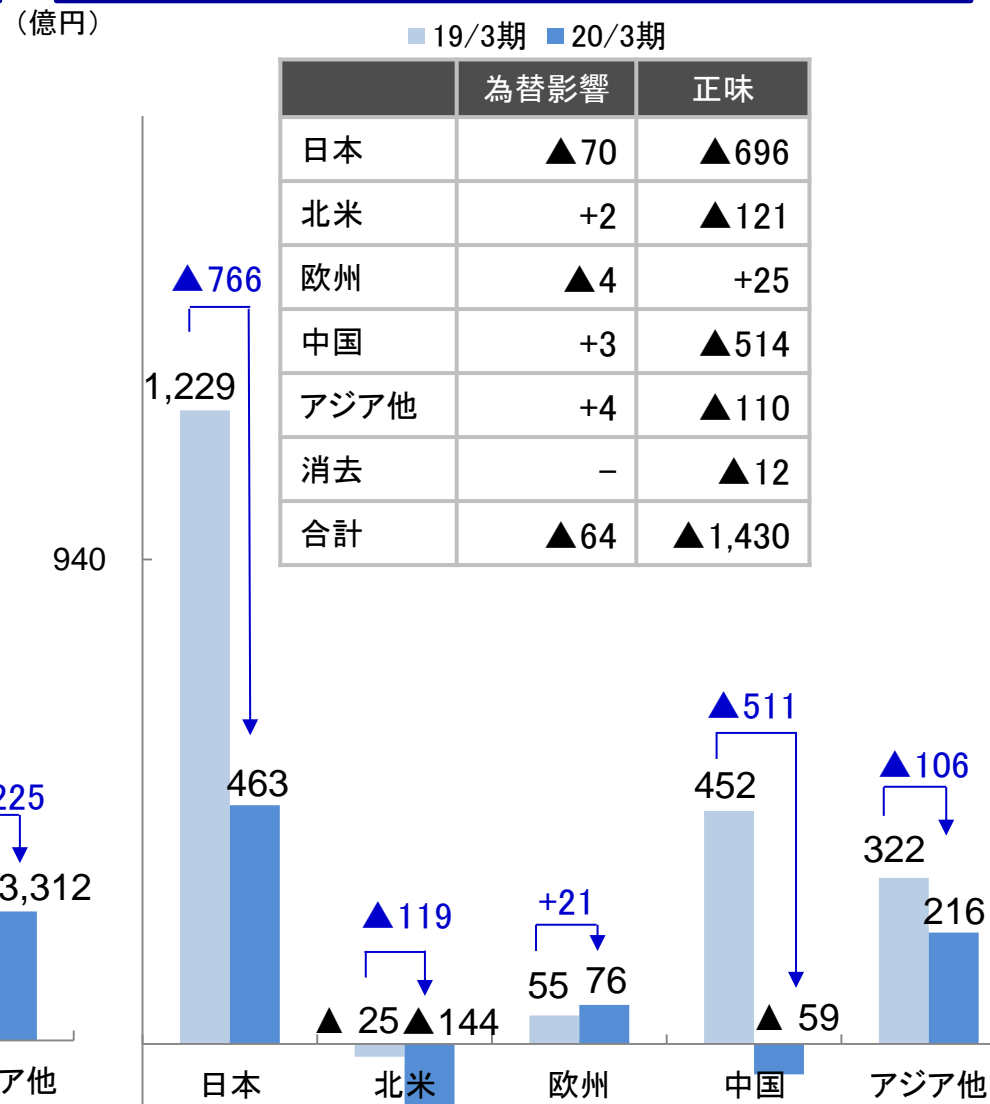


# 2020年3月期 所在地別セグメント

## 売上収益(前年比▲2, 586)



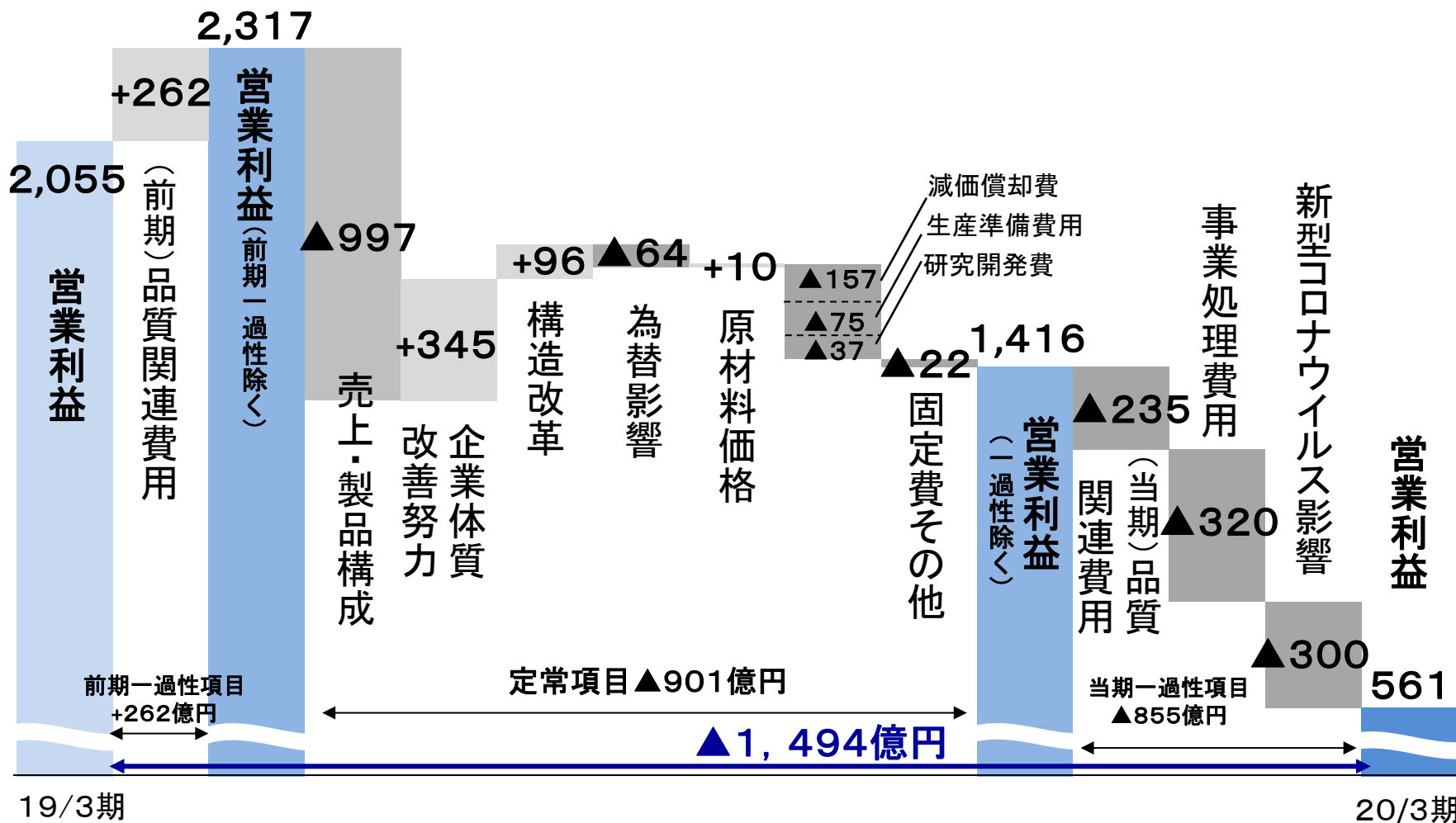
## 営業利益(前年比▲1, 494)



# 2020年3月期 営業利益の増減

## 営業利益の増減(前年比)

(億円)



19/3期

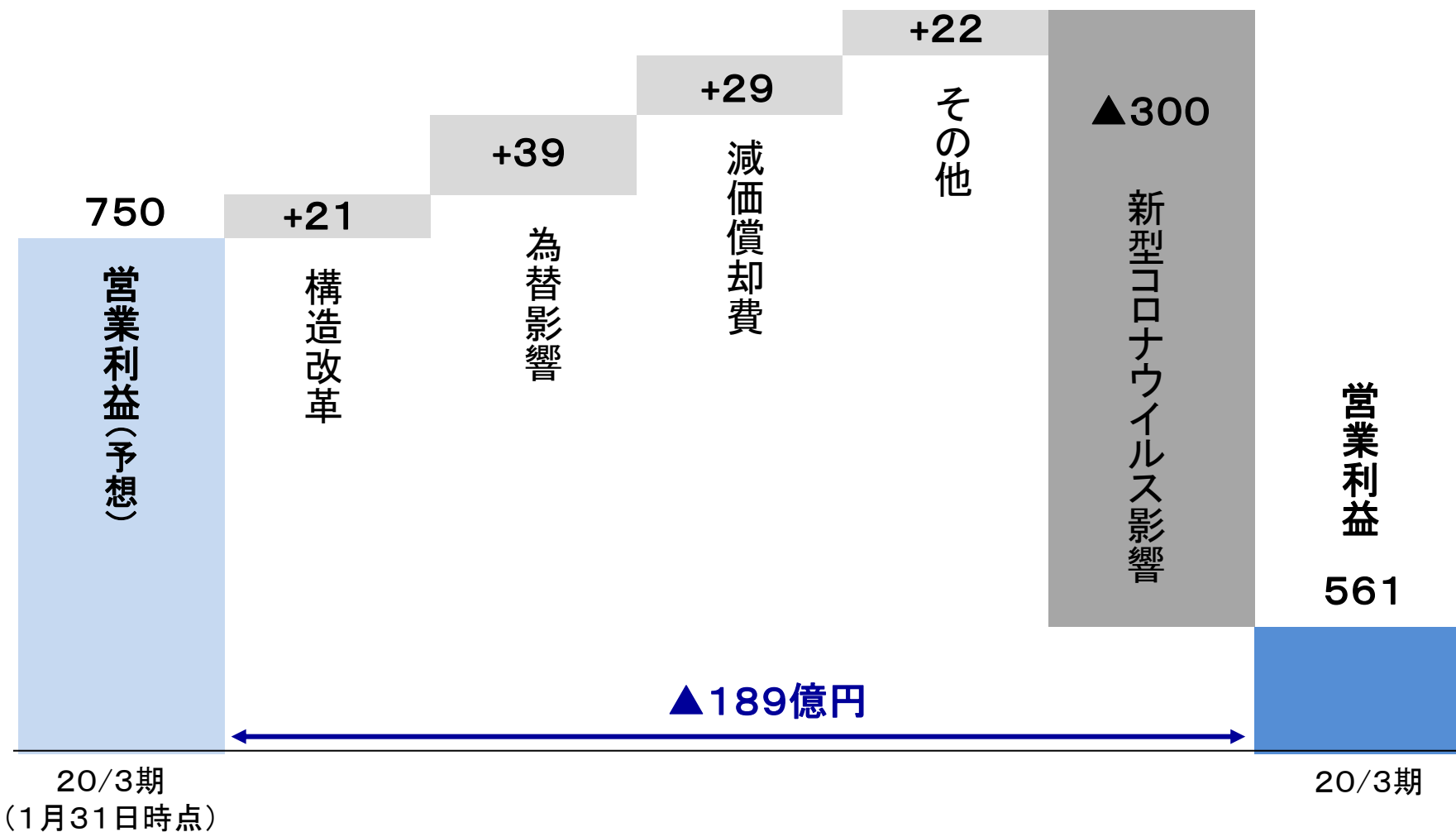
20/3期



# 2020年3月期 営業利益の増減

## 営業利益の増減(1月31日公表比)

(億円)



## 3. 参考資料

---

# 設備投資・償却費・研究開発費の推移

## 設備投資

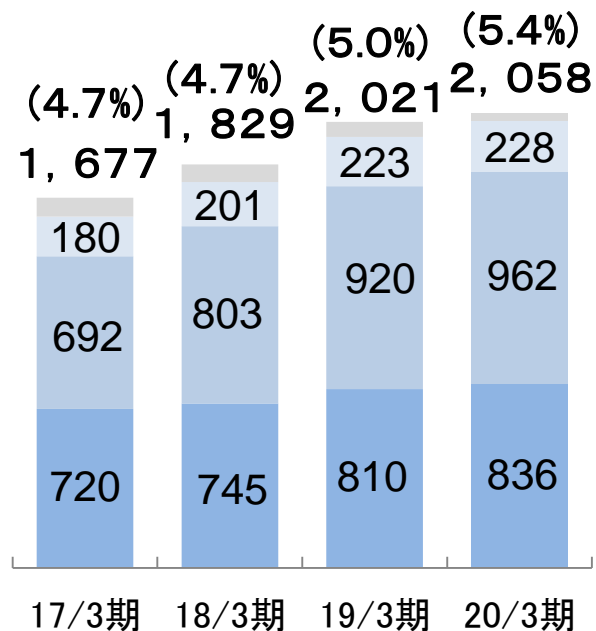
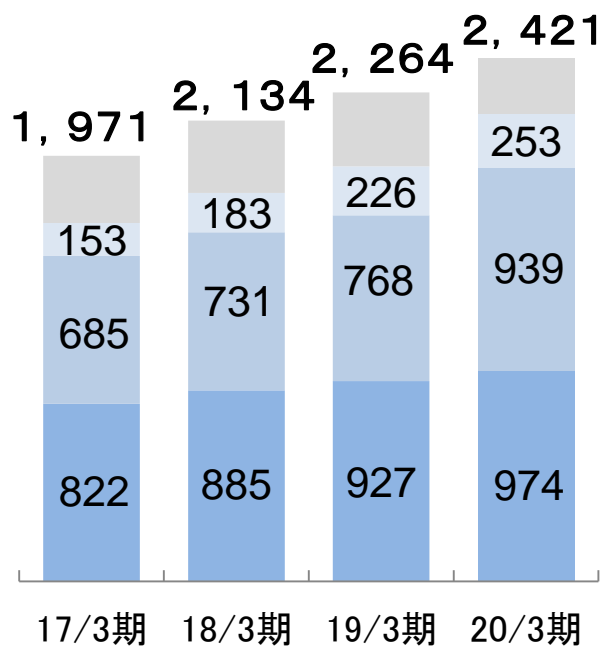
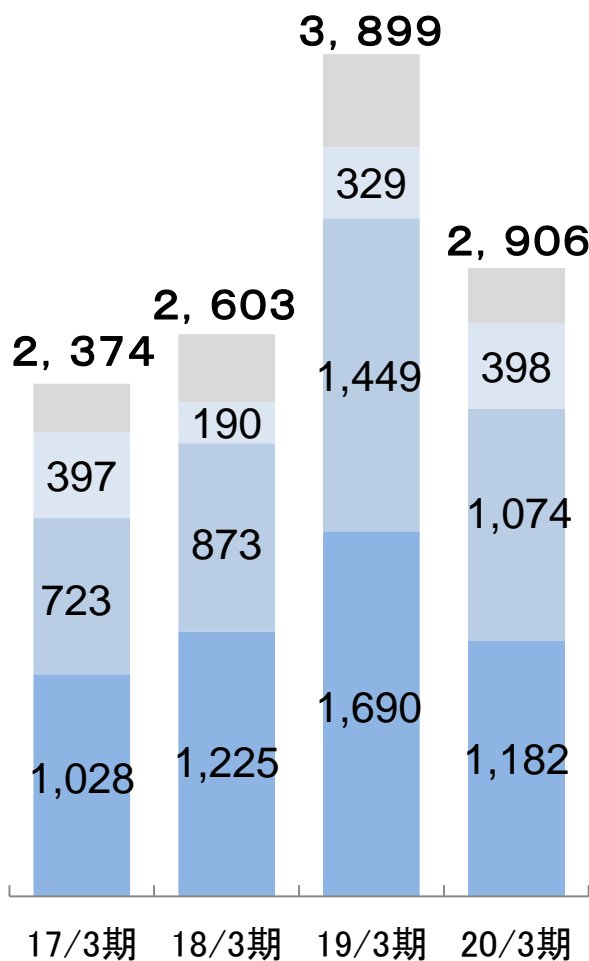
## 償却費

## 研究開発費

(億円)

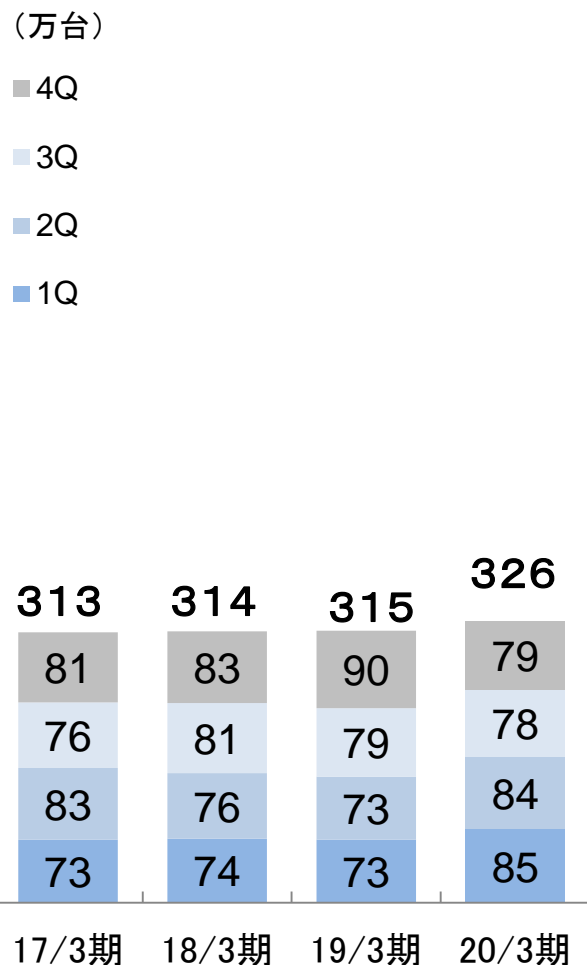
( )内は売上収益比率  
20/3期のみAWサブはアイシンAI統合後数値

- その他
- ADS-G
- AW-G
- 精機-G



# トヨタ生産台数の推移

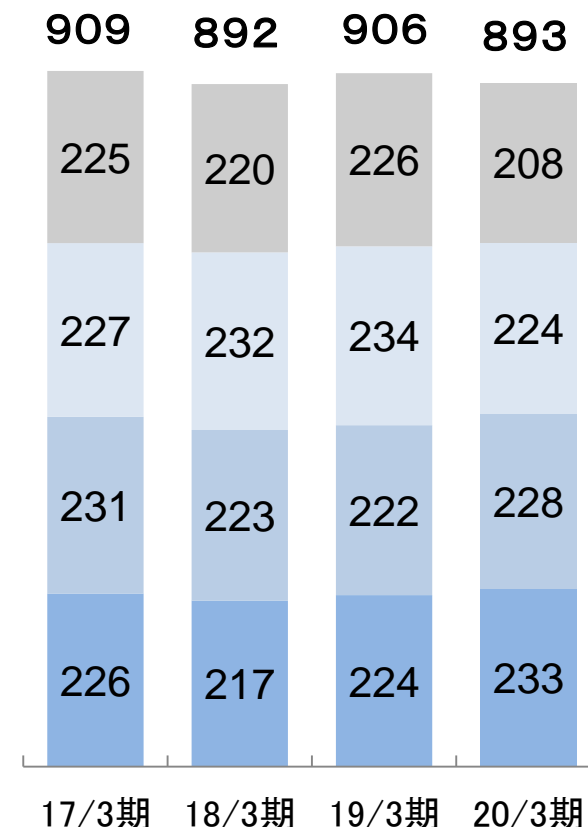
## トヨタ国内生産台数



## トヨタ海外生産台数

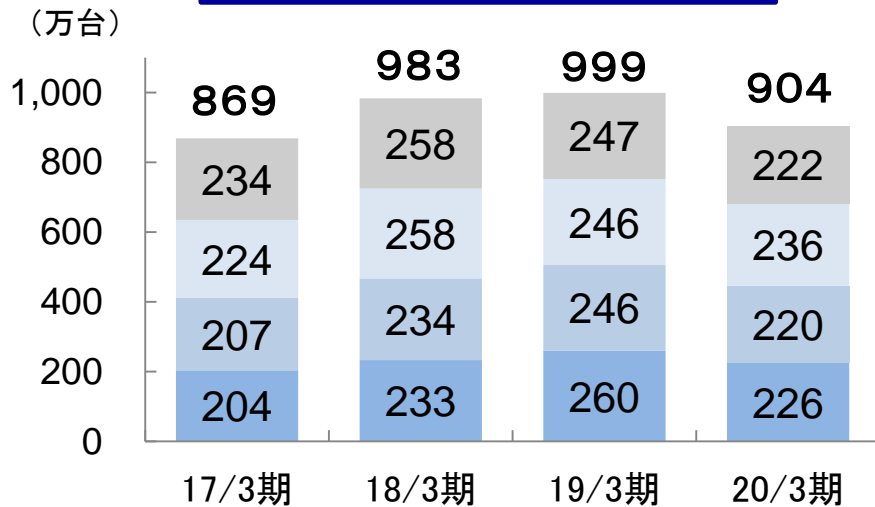


## トヨタ生産台数合計

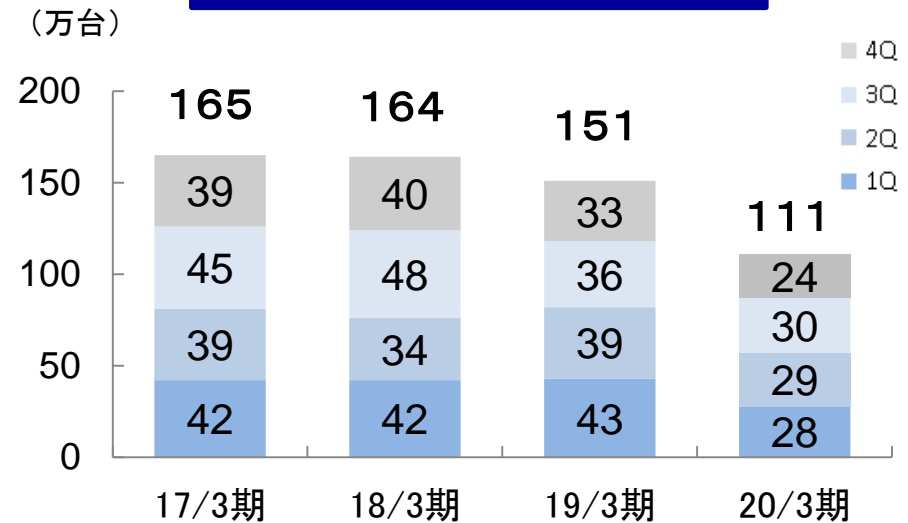


# 販売台数の推移

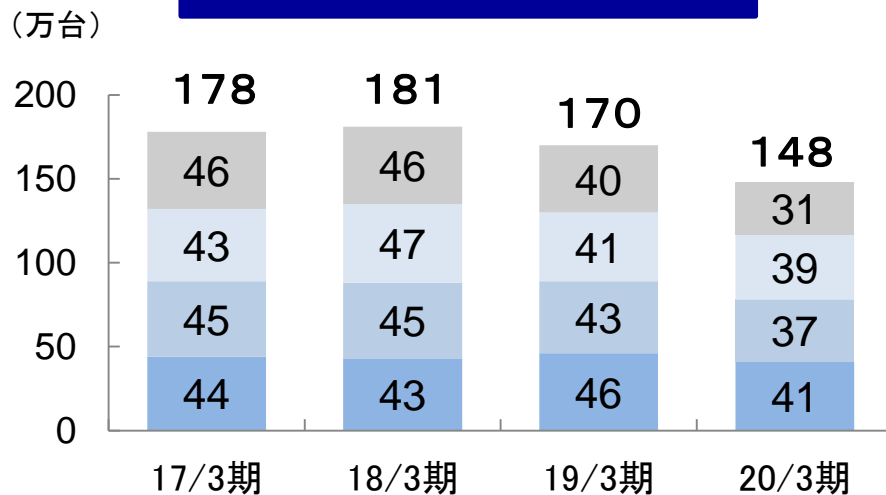
## AT販売台数



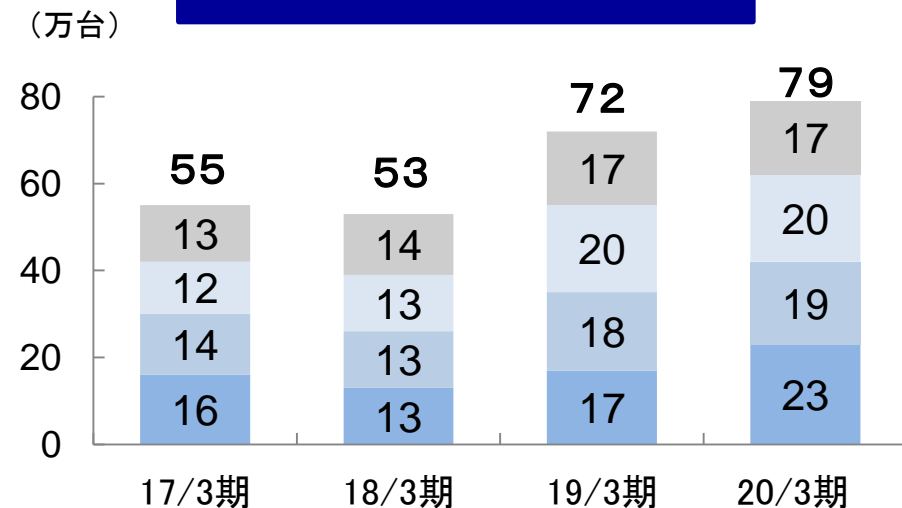
## MT販売台数



## ナビゲーションシステム販売台数

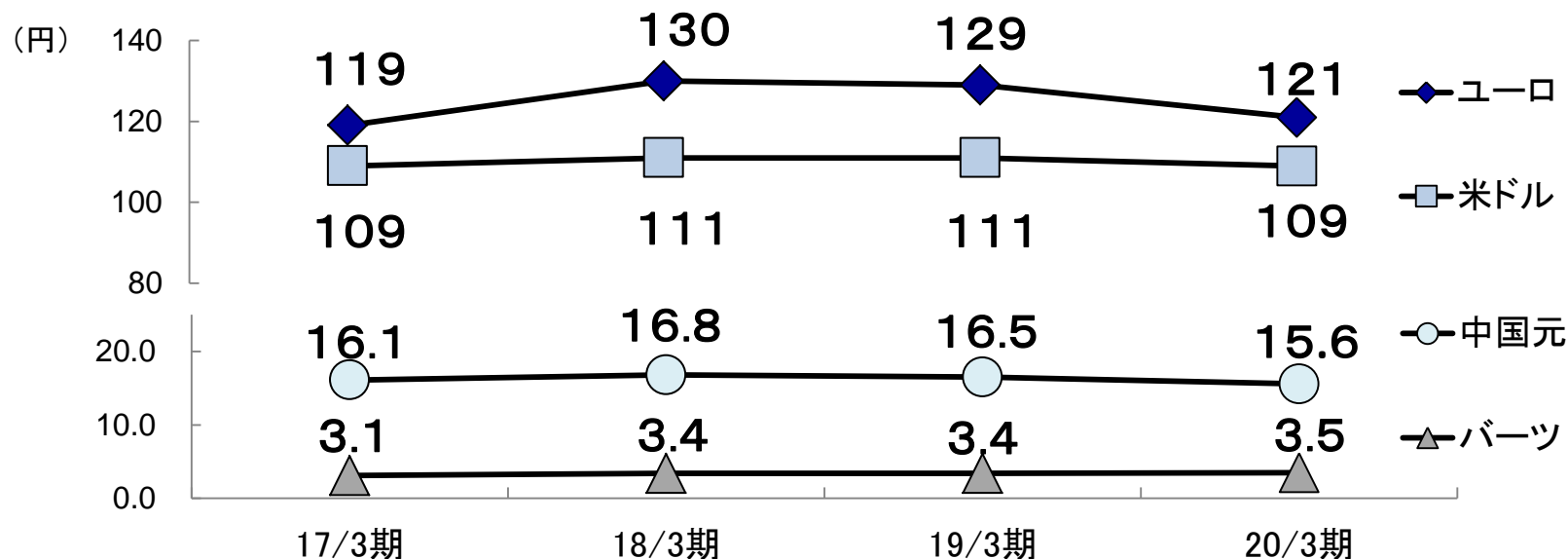


## ナビゲーションソフト販売台数



# 前提となる為替レートの推移

## 為替レート



## 為替感応度

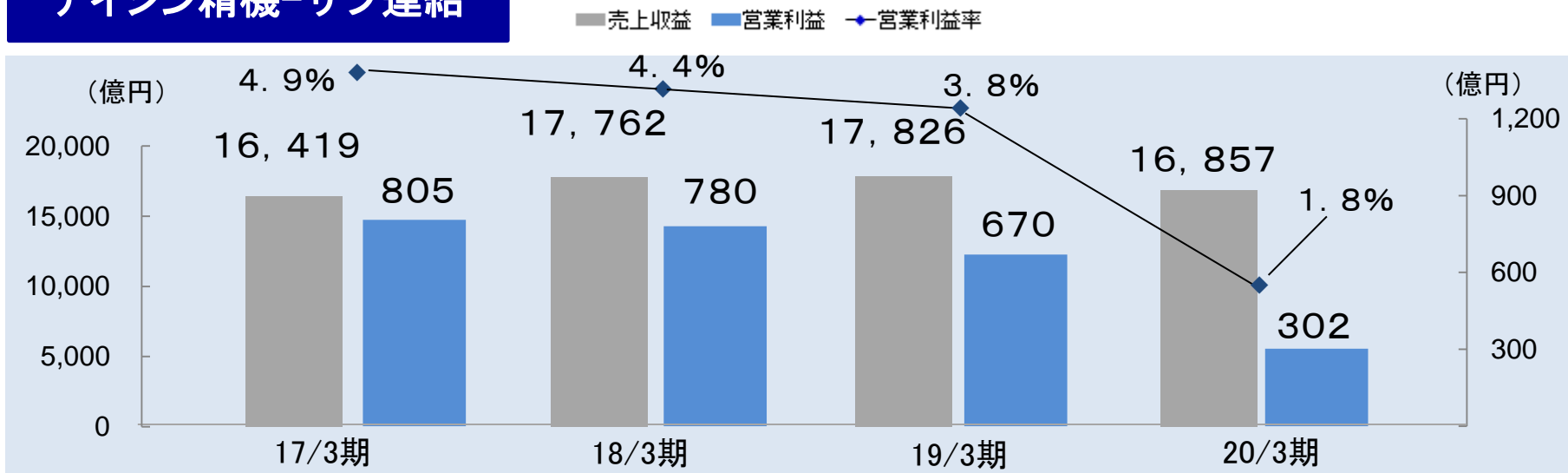
参考: 1円(0.1円)変動あたりの利益影響額 (億円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期
米ドル	13.4	11.3	11.3	9.6
ユーロ	1.7	1.9	1.7	1.8
バーツ※	8.1	12.6	15.5	13.1
中国元※	7.9	8.1	7.6	4.0

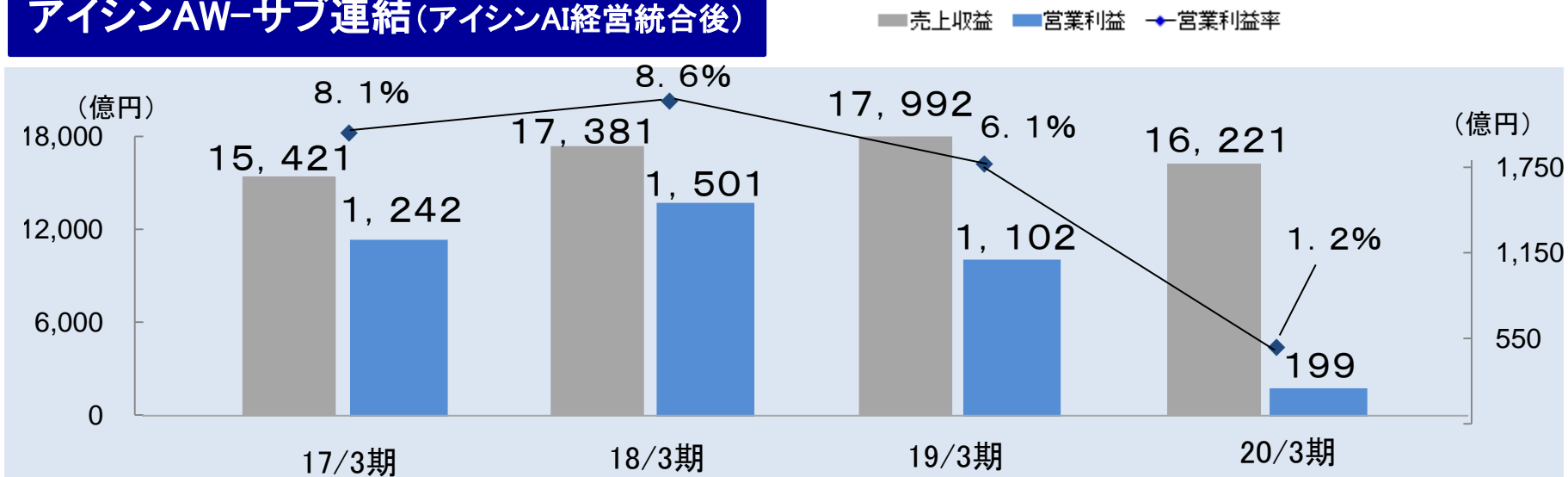
※バーツ、中国元は0.1円あたりの感応度

# 主な連結子会社の財務推移1

## アイシン精機-サブ連結

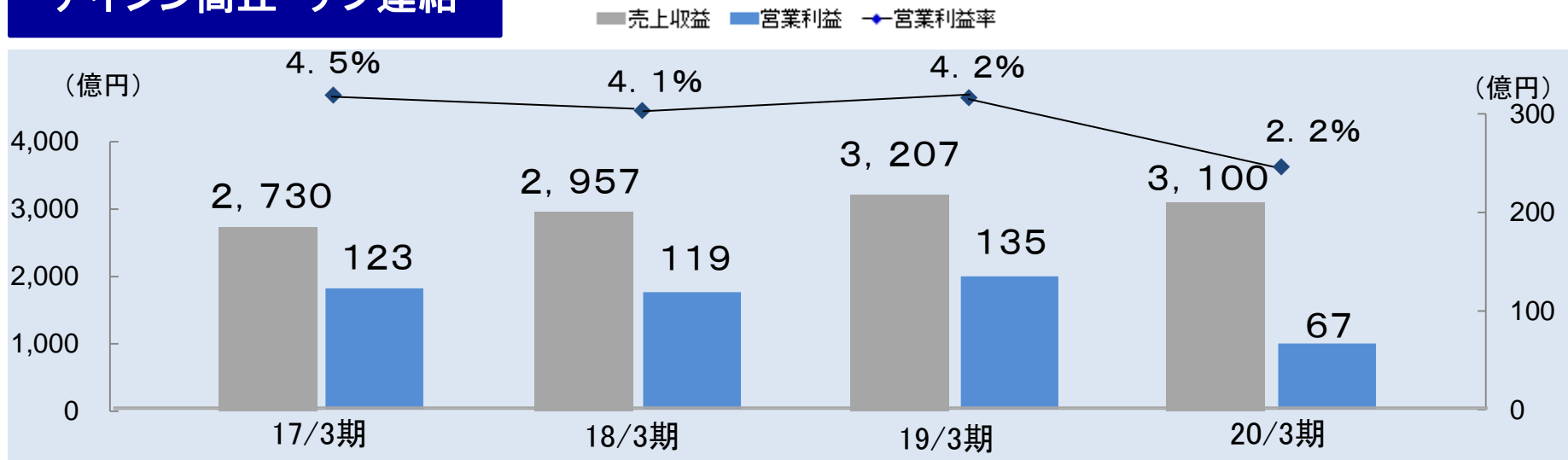


## アイシンAW-サブ連結 (アイシンAI経営統合後)

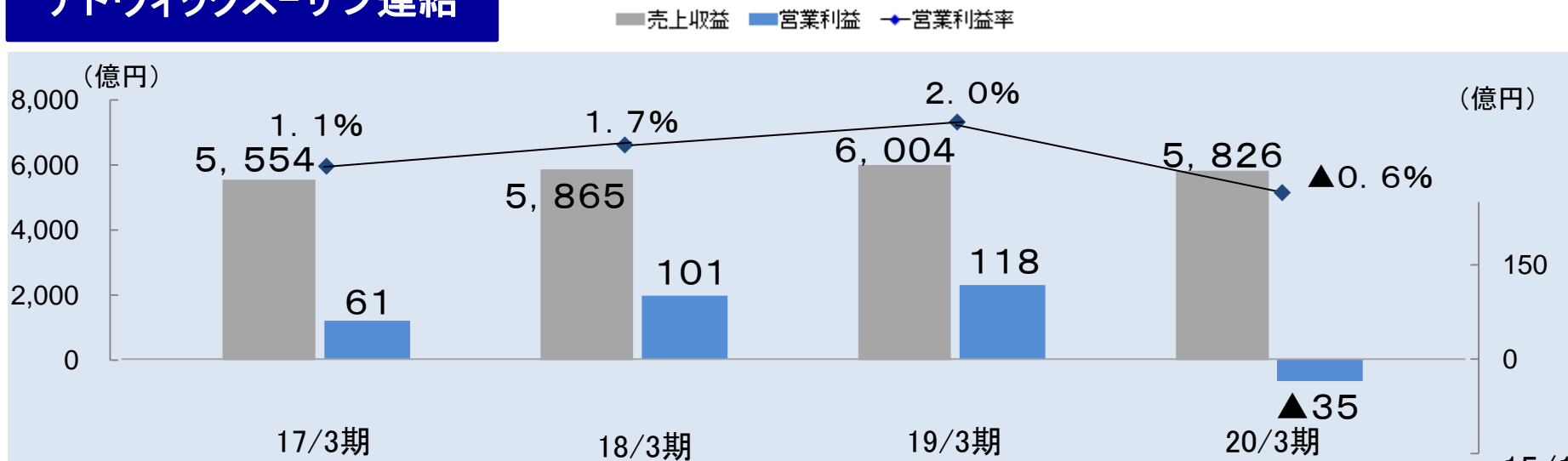


# 主な連結子会社の財務推移2

## アイシン高丘-サブ連結



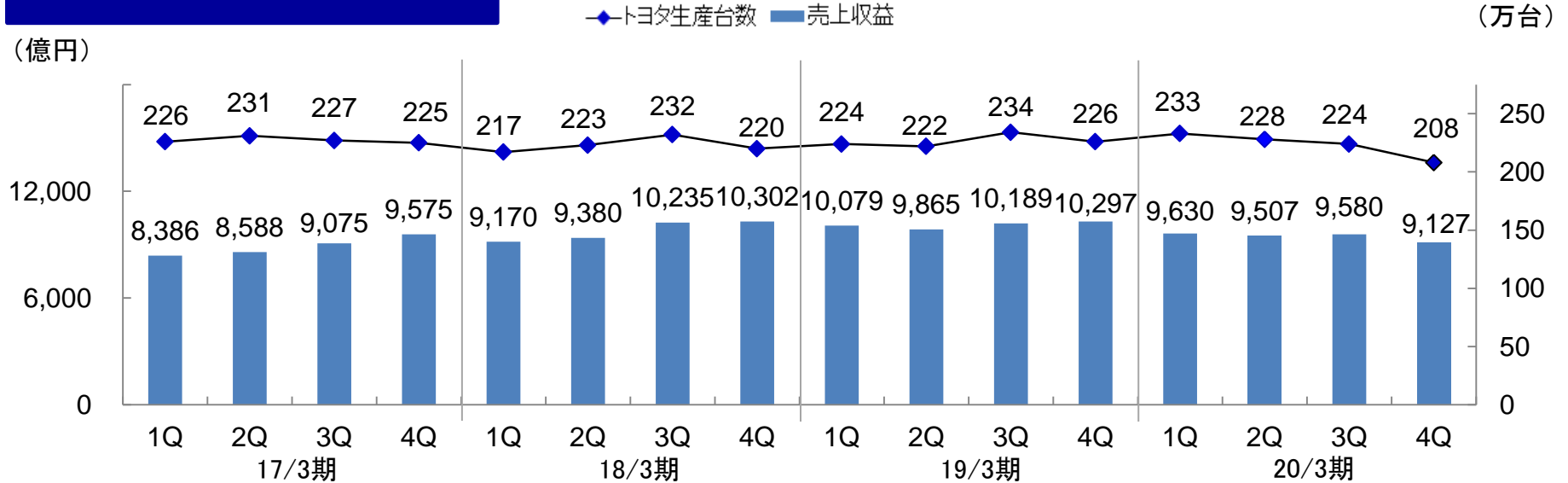
## アドヴィックス-サブ連結



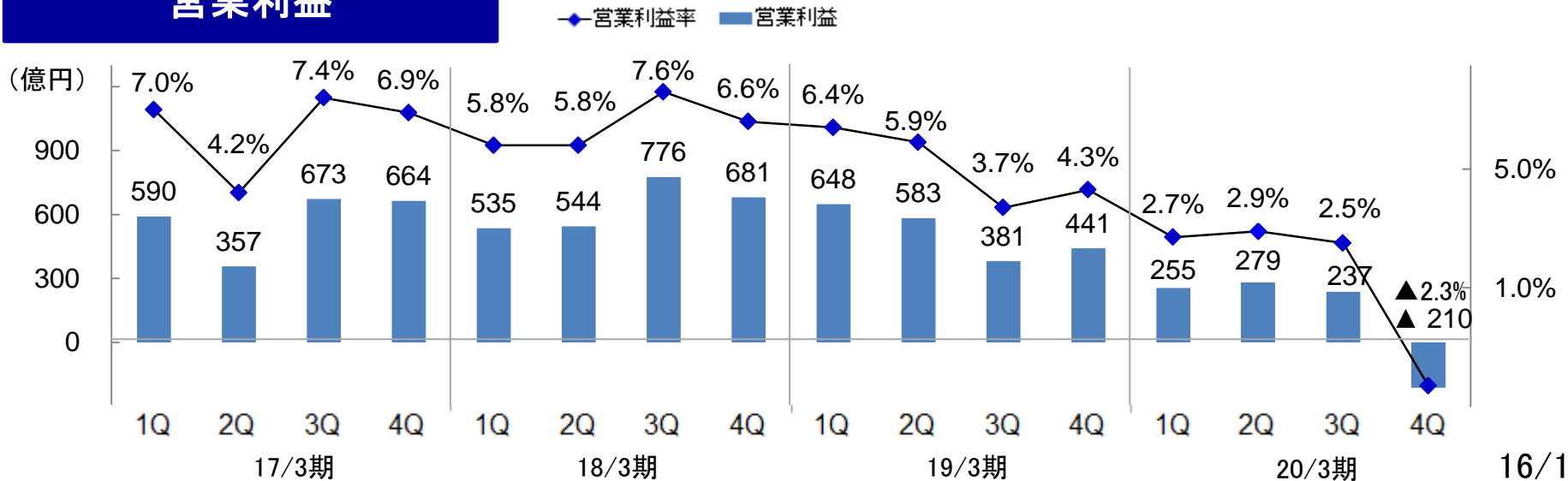


# 四半期業績推移

## 売上収益

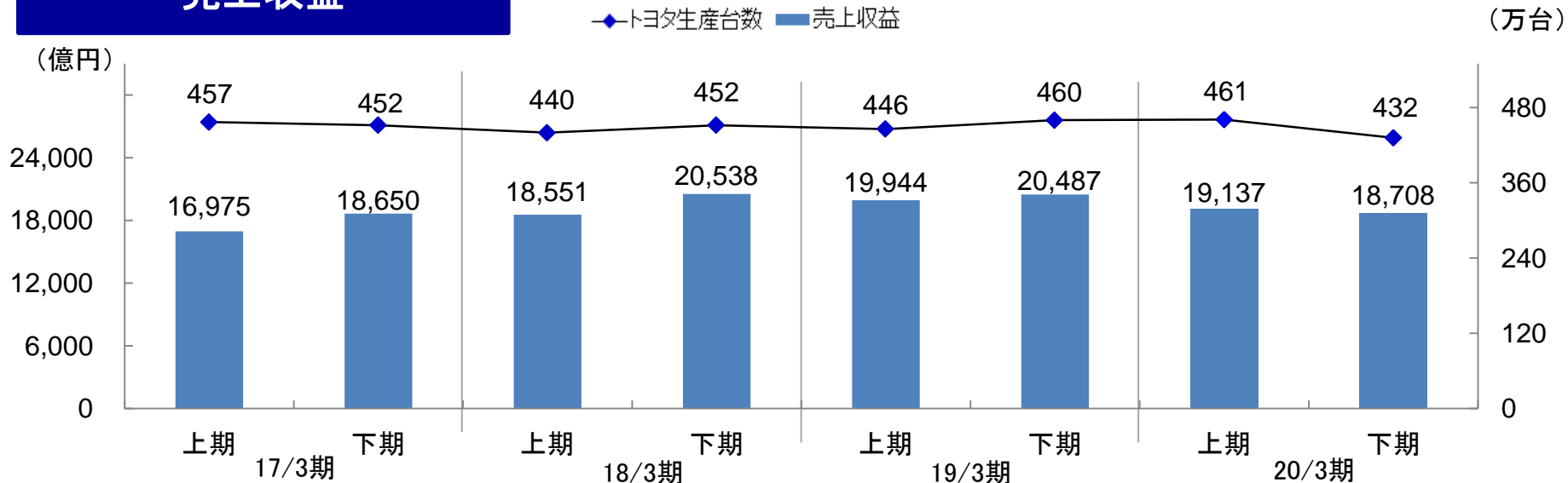


## 営業利益

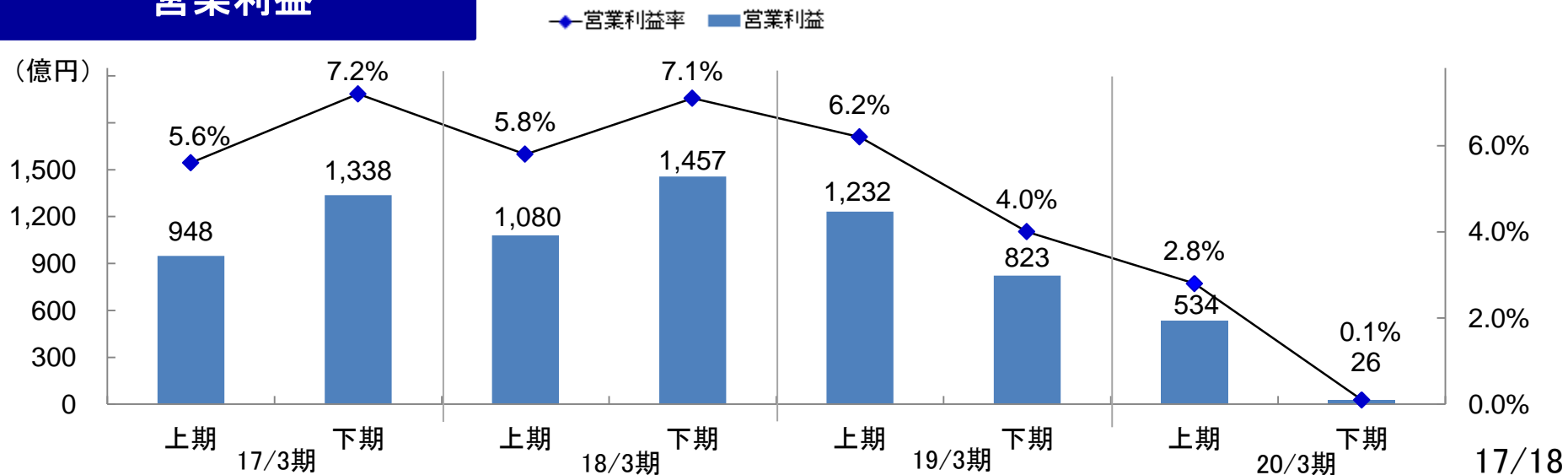


# 半期業績推移

## 売上収益



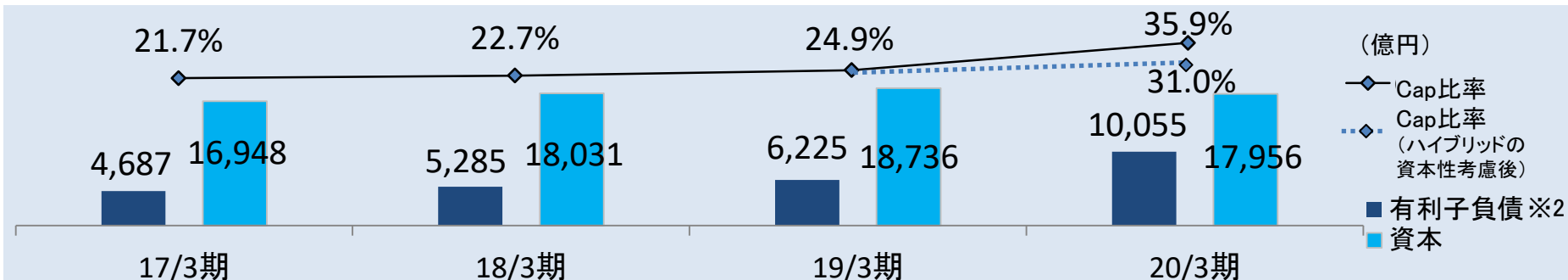
## 営業利益



# 資本政策及び株主還元

## 資本政策

「財務の安全性」と「資本の効率性」のバランスを取りながら、企業価値の向上を図ることを基本方針としています。そのバランスを考える上で、キャピタリゼーション比率※1が25%～30%となるのが最適な資本構成であると考えています。20/3期末において、AWの自己株式取得資金の調達を実施したため、一時的に当該比率を超える結果となっています。



※1: キャピタリゼーション比率(Cap比率) = 有利子負債 / (有利子負債 + 資本)

※2: 有利子負債 = 社債及び借入金 + リース負債

※3: 20/3期に実施したハイブリッド調達は、期限前弁済時直前のCap比率がハイブリッド調達直前期(19/12期)の27.5%以下となった場合に、資本性調達による借換えを見送る可能性あり

## 株主還元

安定配当を基本に、連結配当性向30%レベルを目安に考えています。なお、その時々キャピタリゼーション比率や将来の投資の動向を勘案し、自社株買いも検討していきます。

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期
配当	125	150	150	120
配当性向	28.1%	30.6%	36.7%	134.4%
自社株買い(億円)	490	594	0	0
総還元性向(※)	66.5%	74.5%	36.7%	134.4%

(※) 総還元性向=(配当総額+自社株買い総額)÷当期利益 18/18